

# リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

## 取扱説明書／保証書

# BeTime A-81

このたびは、リモコンエンジンスターターをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

## 目次

- 主な特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
- 使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ
- 梱包内容と各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～5ページ
- 取付け
  - ・取付け前の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6ページ
  - ・接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～8ページ
  - ・16Pコネクターの接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ページ
  - ・セル時間の調整とファンクションスイッチの設定・・・・10ページ
  - ・作動確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページ
  - ・LED確認表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ
  - ・フットブレーキ配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ
  - ・L端子検出配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ
- リモコンの使用方法
  - ・エンジン始動／停止させる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ
  - ・電波特性／電池交換のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ
- 機能説明
  - ・アイドリング時間の設定とターボタイマーの設定・・・・17ページ
  - ・当社セキュリティシステムの連動について・・・・・・・・・・18ページ
- アンテナユニットの固定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19ページ
- メインユニットの固定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20ページ
- 警告ステッカーの貼り付け場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・21ページ
- オプションイモビ対応アダプターの取付けについて・・・・21ページ
- 運転するには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22ページ
- スリープ機能について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22ページ
- IDコードの再登録/追加登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22ページ
- 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23～24ページ
- アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25ページ
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26ページ

# 主な特長

## 生活防水仕様の超小型リモコン採用

- リモコンは超薄型でJIS 防水保護等級3級相当の生活防水仕様です。
- 付属のリモコン以外にもうひとつ別売リモコンを追加できます。

## ダブルヘリカルアンテナ採用で確実にリモコンからの電波をキャッチ

- ダブルヘリカル方式を採用したアンテナで確実にリモコンからの電波をキャッチ。
- 吸盤を使ってフロントガラスに取付け可能。取付け場所を選ばない省スペース設計。

## 電波視界到達距離 MAX 3600m／市街地 100m～1000m

- 本製品は特定小電力の認定を受けており、見通しの良い場所で最長3600m※1の通信が行えます。又、市街地で使用した場合、約100m～1000mの通信が可能です。※2

※1 当社測定による最高値

※2 場所によっては周囲の電波の影響を受け、通信距離が極端に短くなる場合もあります。

## お好みのアイドリング時間とターボタイマー時間を設定

- エンジンスタートアイドリング（暖機）時間は20分又は40分の選択式
- ターボタイマー時間は走行時間によって自動的（30秒～5分）に設定します。
- グロー時間は5秒・8秒選択式

## セル時間調整機能搭載

- セル時間の長さはオート（自動）又はマニュアル（手動）の切替えが可能です。

## 当社 別売セキュリティシステム連動可能

- A-81のリモコンで当社別売 セキュリティシステム※スタート、ストップ操作が可能です。  
※機種により対応できないものがあります。

## 安全機能

- 本製品は万が一に備えた安全機能を採用しています。
  1. 独立配線システム
  2. IDコードによる誤作動防止機能
  3. A/Tシフトストップ機能
  4. フットブレーキ回路 ※3、4はどちらか選択式になります。
  5. ACC検出回路
  6. バッテリー電圧検出機能
  7. 本体の消費電流を抑えるスリープ機能（8日間 エンジンをかけなかった場合）

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

## 危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトレバーをP(パーキング)に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、P(パーキング)以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖機運転の後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車種で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車種が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

## 注意

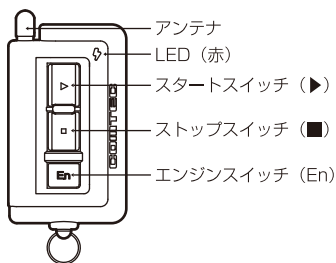
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー(スターター含む)や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中はキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車種は、降車時にスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください。
- 公道でエンジンをかけたまま車種を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。  
(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。)

本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

# 梱包内容と各部の名称

## ■リモコン (1個)

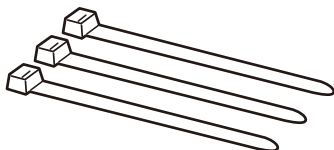


リモコンの操作方法 (詳細はP15、18)

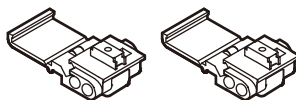
作動内容	操作方法
エンジンスタート	En → ▶
エンジンストップ	En → ■
弊社 別売セキュリティシステム スタート	▶
弊社 別売セキュリティシステム ストップ	■

リモコン電池はCR2016 1個内蔵 (電池交換のしかたはP16参照)

## ■インシュロック (3本)



## ■エレクトロタップ(2個)



## ■L端子延長線 (白色)(P14参照)(1本)



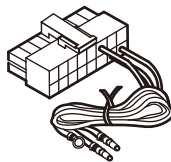
## ■フットブレーキ延長線 (黄色)(P13参照)(1本)



## ■当社別売 セキュリティシステム延長線 (茶色)(P18参照)(1本)



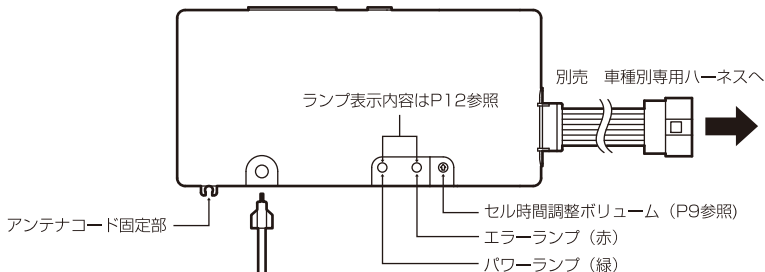
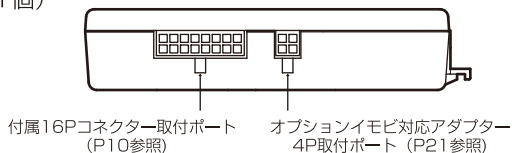
## ■16Pコネクター (1個) (P10参照)



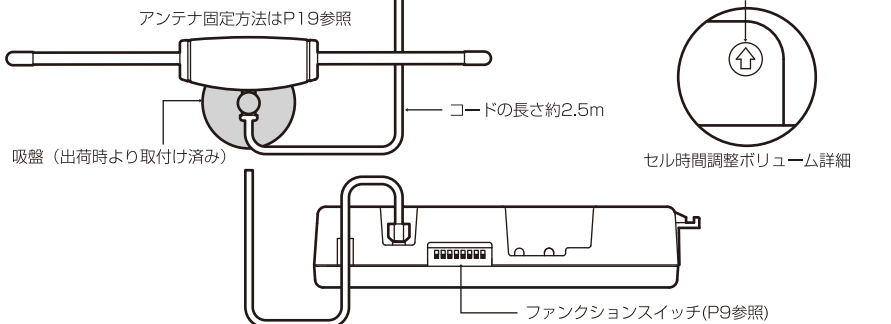
## ■警告ステッカーシート (1枚)



## ■メインユニット（1個）



## ■アンテナユニット（1個）



## ファンクションスイッチのはたらき (P9参照)

No	スイッチのはたらき	OFF	ON	No	スイッチのはたらき	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	通常	0V	5	IG入力検出の選択 (※3)	IG1	IG2
2	セルストップ方式	オート	マニュアル (ボリューム調整)	6	フットブレーキ配線	配線しない	配線する
3	エンジン始動 検出方法	オート	L端子	7	アイドリング時間	20分	40分
4	グロー時間 (※2)	5秒	8秒	8	ターボタイマー	0秒(OFF)	セミオート

※1 一部の車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキング[P]やニュートラル[N]の位置以外でキーが抜けてしまう場合にBe-963 Pポジション線を車輛のPポジションインジケータランプに配線して設定します。

※2 ほとんどのガソリン車はOFF(5秒)に設定します。

※3 ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでかけた時メインユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジン停止しない場合があります。  
そのような時はファンクションスイッチNo.5をONにして下さい。  
(ムーヴ以外の車種でも同様の症状がでましたらONにして下さい。)

# 取付けの注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

## ① 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・ハサミ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・保護テープ
- ・カッターナイフ
- ・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

## ② シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。



## ③ 配線について

●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、市販の保護テープを貼って保護してください。

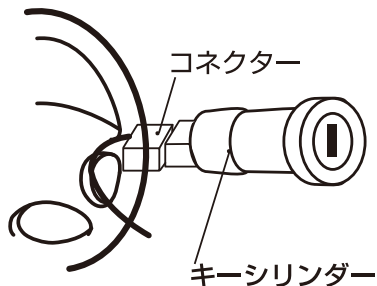


## ④ エレクトロタップ使用方法について

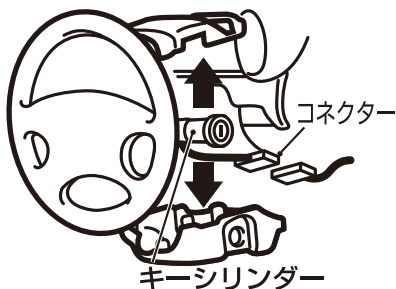
<p><b>1</b> 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。</p> <p>Labels: 車側コード (Car side wire), 金属端子 (Metal terminal), 差し込み穴 (Insertion hole), 本機コード (Main machine wire)</p>	<p><b>2</b> プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。</p> <p>Label: プライヤー (Pliers)</p>
<p><b>3</b> カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。</p> <p>Labels: カバー (Cover), 矢印 (Arrow)</p>	<p><b>4</b> 絶縁テープを巻いて作業終了です。</p> <p>Label: グレー部分全体にテープを巻いてください。 (Wrap the entire grey part with tape.)</p>

**1** 車のキーシリンダーから出ているコネクタを探してください。

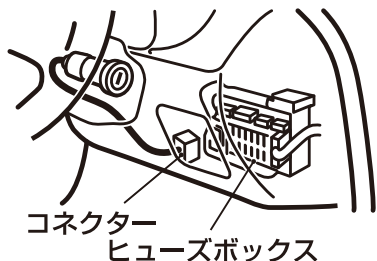
①キーシリンダー直付けタイプ



②キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ

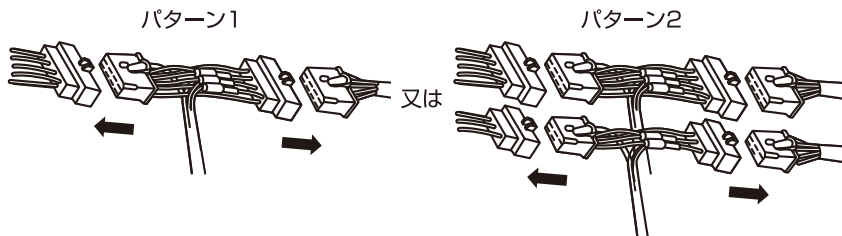


③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



※コネクタの場所は車種によって異なります。  
(ほとんどの車が上記1~3のいずれかにあてはまります。)  
車種によってはコネクタが2ヶ所存在する場合もあります。

**2** 車側のコネクタを外し、外したコネクタ間を専用ハーネスで接続してください。



## ⚠ 注意

- ・コネクタを外して、キーを回しても、エンジンは始動しません。  
もしエンジン始動した場合は、そのコネクタは違いますので別のコネクタを探してください。
- ・専用ハーネスによっては車側のコネクタを2ヶ所外し、接続する必要があります。(パターン2参照)

# 取付け (接続)

## 3 アースの取付

- ①アース端子 (黒コード) を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

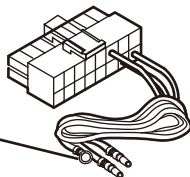


この部分に取り付けます

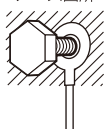


**注意**

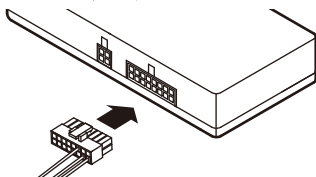
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。



アース箇所



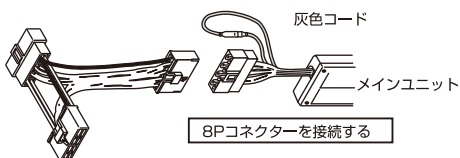
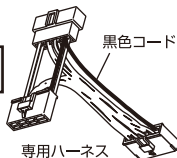
- ②メインユニットの16Pコネクター差し込み口に、16Pコネクターを接続します。



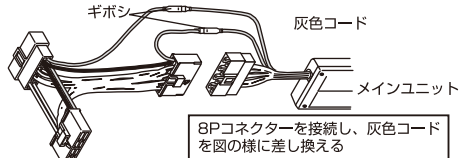
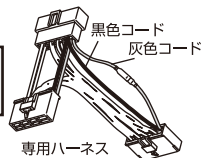
## 4 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。

下記の図①・②から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

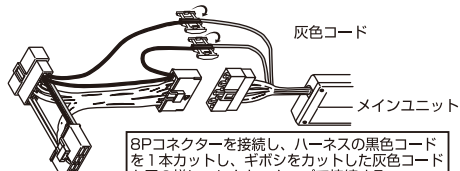
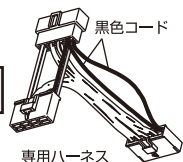
- ① 専用ハーネスに黒色コードが1本



- ② 専用ハーネスに黒色コードが1本  
灰色コードが1本



- ② 専用ハーネスに黒色コードが2本





# 取付け (16Pコネクターの接続)

16Pコネクターには下記のオプションを接続することができます。



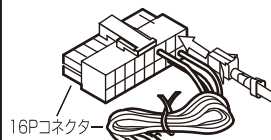
16Pコネクター

16	15	14	13	12	11	10	9	上側
8	7	6	5	4	3	2	1	下側

## 取付け方

①付属16Pコネクターに配線する端子をしっかりと差し込みます。

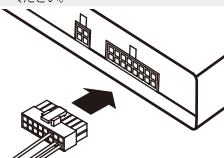
⚠差し替えることができませんので注意してください。



16Pコネクター

②付属16Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。

⚠オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



## 16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P13参照)	9	未使用
2	L端子(P14参照)	10	未使用
3	未使用	11	アース(P8)
4	未使用	12	未使用
5	未使用	13	未使用
6	未使用	14	未使用
7	当社別売自動車盗難警報装置接続 (P18)	15	未使用
8	未使用	16	Pポジション (オプション)

### ■フットブレーキ (NO.1)

フットブレーキ配線をする場合に付属のフットブレーキ延長戦 (黄色) を使用します。(P13参照)

### ■L端子 (NO.2)

L端子配線をする場合に付属のL端子延長線 (白色) を使用します。(P14参)

### ■当社別売自動車盗難警報装置接続 (NO.7)

A-81のリモコンで当社別売 自動車盗難警報装置のスタート/ストップ操作をするときに付属の専用線 (茶色) を使用します。(P18参照)

### ■Pポジション (NO.16)

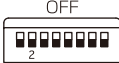



ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車軸にPポジション線 (Be-963)を接続します。

# 取付け (セル時間の調整とファンクションスイッチの設定)

メインユニットにはセル時間を調整するセルボリュームといろいろな設定を行うファンクションスイッチがあります。

## ■セル時間の調整について (工場出荷時のファンクションスイッチはオート/セルボリュームは中央に設定)

車輛に合わせてセル時間をオート (自動調整) 又はマニュアル (手動調整0.5秒~2.5秒) に設定することができます。セルがひきずる場合はセル時間を短く、エンジン始動しにくい場合はセル時間を長めに調整します。

セル時間	ファンクションスイッチNo.2	セルボリュームのはたらき
オート (自動)		 <p>エンジン始動検出後、セルを自動的に止めますが更にセルボリュームを右に回すことでセル時間を延長できます。(セル延長時間は最長1秒まで)</p>
マニュアル (手動)		 <p>エンジン始動検出にかかわらずセル時間を手動調整 (0.5秒~2.5秒) できます。</p>

## ⚠️ こんなときは

### エンジンスタートするがセルをひきずる場合

ファンクションスイッチNo.2がOFFの場合は、セルボリュームを左に回しセル時間を短かめに調整しそれでもひきずる場合は、ファンクションスイッチNo.2をON (マニュアル) に設定してセルボリュームを左に回し、セル時間を短かめに調整します。

### セルしか回らずエンジンがかからない場合

ファンクションスイッチNo.2をOFF (オート) に設定している場合はセルボリュームを右に回し、セル時間を長めに調整します。それでもセルが短い場合はファンクションスイッチNo.2をON (手動) に設定してセルボリュームを右に回し調整します。

## ■ファンクションスイッチの設定について (工場出荷時は全てオフに設定)

ファンクションスイッチは下記のような設定をすることができます。

No	スイッチのはたらき	内容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0Vの車はON、12Vの車と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	セルストップ方式	エンジン始動時のセルを止める時間を設定します。	オート	マニュアル (ボリューム調整)
3	エンジン始動 検出方法	エンジン始動検出の選択をします。	オート	L端子
4	グロー時間 (※2)	グロー時間を設定します。	5秒	8秒
5	IG入力検出の選択 (※3)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種はONにします。(通常はOFFにします)	IG1	IG2
6	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線する場合、ONにします	配線しない	配線する
7	アイドリング時間 (P17参照)	リモコンでエンジン始動したときのアイドリング時間を設定します。	20分	40分
8	ターボタイマー (P17参照)	ターボタイマー時間を設定します。	0秒(OFF)	セミオート

※1 一部の車輛で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車輛が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

※2 ほとんどのガソリン車はOFF(5秒)に設定します。

※3 ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでかけた時メインユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジン停止しない場合があります。そのような時はファンクションスイッチNo.5をONにして下さい。(ムーヴ以外の車種でも同様の症状がでましたらONにして下さい。)

# 取付け(作動確認)

⚠ 取付け・接続後必ず以下の動作確認を行ってください。

**1** ●ファンクションスイッチを全てOFFにします。但し、下記に該当する一部の車種はスイッチをONにしてください。  
 ※ダイハツムーヴの一部の車種はメインユニットのファンクションスイッチNo.5をONにしてください。OFFにするともリコンでスタートした時、POWERランプが点灯したままセルが回らずエンジンが始動しなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。(P10参照)

↓ YES

**2** ●イグニッションキーをACCの位置までまわしてください。  
 ・ラジオ等アクセサリ電源のON/OFFができますか？

NO

●専用ハーネスの配線箇所が誤っていませんか？  
 ●専用ハーネスの配線方法が誤っていませんか？  
 ●車に適合した専用ハーネスですか？  
 ・専用ハーネスを確認してください。  
 ・アースが確実に取れているか確認してください。

↓ YES

**3** ●イグニッションキーをONの位置までまわしてください。  
 ・メーターパネル等の電源がONし、メインユニットのパワーランプ(緑)が点灯しますか？

NO

↓ YES

**4** ●イグニッションキーで通常よりセル時間を長めにエンジン始動してください。  
 この動作を行なわないと、リモコンでエンジン始動できません。  
 ・正常にエンジンが始動しますか？

↓ YES

**5** ●イグニッションキーで車のエンジンを停止させ、イグニッションキーを抜いてください。  
 ・正常にエンジンが停止しますか？

NO

●ターボタイマー機能が働いていませんか？  
 ・ファンクションスイッチを全てOFF後 **1** へ  
 ●ターボタイマー機能が働いてない場合  
 ・専用ハーネスを外して弊社まで連絡してください。

↓ YES

**6** ●リモコンのEnボタンを押し、スタートボタン(▶)を押してください。  
 ・メインユニットのパワーランプ(緑)が点灯して約6秒後に、エンジンが正常に始動し、メインユニットのパワーランプ(緑)が点滅しますか？

NO

●メインユニットにエラー表示がある時  
 ・LED確認表(P12)を参照後、**A** へ  
 ●メインユニットにエラー表示がない時  
 ・セルが短くエンジン始動しない場合はセル時間の調整へ(P10)  
 ・エンジン始動を3回リトライする場合はL端子配線(P14)を行い**6** へ  
 ・上記以外でエンジン始動しない場合は「故障かな？」(P23,24)を参照ください。  
 ●全く動作しない時  
 ・リモコン電池の電圧を確認後、IDコードの再登録(P22)を行い**6** へ

↓ YES

**7** ●リモコンでエンジンを始動したままで、イグニッションキーをACCの位置で止めてください。  
 ・約3秒後にエンジンが停止しますか？

NO

・専用ハーネスの配線箇所を誤っていませんか？

↓ YES

全ての動作は正常です。

**A** ●LED確認表の表示No.1の場合(安全装置が働いています)  
 ・配線接続確認後イグニッションキーを抜いた状態で、**6** へ  
 ●LED確認表の表示No.3の場合(シフトポジション検出のできない車種です)  
 ※シフトがパーキング **Ⓚ** ・ニュートラル **Ⓝ** の位置にあっても表示します。  
 ・ファンクションスイッチNo.6をONにして、フットブレーキ配線(P13)を行い **6** へ  
 ●LED確認表の表示No.4の場合  
 ・車からのノイズ又は異常電圧の影響で、本体に異常が起きています。弊社まで連絡してください。

# 取付け (LED確認表)

メインユニットLEDランプが表示することで、製品の作動状態やエラーメッセージを確認することができます。

No.	ランプ名称	表示	名称	内容／解除方法
1	ERRORランプ (赤)		フットブレーキ検出 エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 <b>対策</b> フットブレーキ線の接続を確認してください。(P13参照)
	POWERランプ (緑)			
2	ERRORランプ (赤)		Pポジション検出 エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 <b>対策</b> Pポジション線の接続を確認してください。(オプションBe-963取説参照)
	POWERランプ (緑)			
3	ERRORランプ (赤)		P.N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートラル)以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 <b>対策</b> リモコンでエンジンがかからずにご表示になる場合はフットブレーキ配線(P13)が必要です。
	POWERランプ (緑)			
4	ERRORランプ (赤)		リレー溶着 エラー	メインユニットのリレーが溶着しています。 <b>対策</b> 再度ID登録を行って下さい。(P22参照)又は、キーONにして下さい。再度点灯する場合はサービス部へご連絡下さい。
	POWERランプ (緑)			
5	ERRORランプ (赤)		リモコン メインユニット 通信確認	キーがACCの時にリモコンの電波を受信すると表示されます。リモコンとメインユニットの通信チェックを行う時に使用してください。
	POWERランプ (緑)			
6	ERRORランプ (赤)		バッテリー 電圧検出エラー	バッテリー低下したことをお知らせします。電圧が復活するまで点滅します。リモコンでエンジン始動させ、IGキーONの表示なる場合はバッテリーの整備点検をお勧めします。
	POWERランプ (緑)			
7	ERRORランプ (赤)		キーOFFで 本機作動中の状態 エンジンスター ターボタイマーが 作動しているとき	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
8	ERRORランプ (赤)		キーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
9	ERRORランプ (赤)		待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
10	ERRORランプ (赤)		L端子配線違い エラー	L端子以外の線に間違っで配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。 <b>対策</b> L端子配線の確認をしてください。(P14参照)
	POWERランプ (緑)			
11	ERRORランプ (赤)		リモコンID未登録	リモコンでID登録して下さい。(P22参照)
	POWERランプ (緑)			
12	ERRORランプ (赤)		IG2未検出 エラー	取付けを行った後、確実にキーでエンジン始動させてIG2の認識を行って下さい。(P11 4参照)
	POWERランプ (緑)			
13	ERRORランプ (赤)		ACC検出 エラー	本機作動中にIGキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかIGキーをONの位置まで回して下さい。
	POWERランプ (緑)			

# 取付け (フットブレーキ配線)



注意

次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチNo.6をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、

**安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。**

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

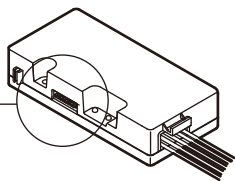
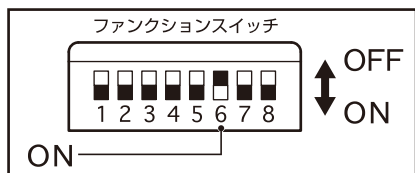
・日産の全ての車種※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、パードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。

・スターター作動時または、ターボタイマー作動時シフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。

・シフトレバーがPの位置で、リモコンスタート時にメインユニットのエラーランプ (赤) とパワーランプ (緑) が同時に点滅する場合。

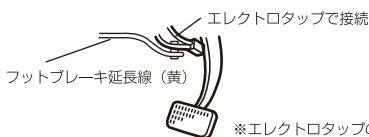
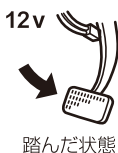
・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

**1** メインユニットのファンクションスイッチNo.6をONにしてください。



**2** 付属のフットブレーキ延長線 (黄) をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0V、踏んだ状態で 12V の線に付属のフットブレーキ延長線 (黄) をエレクトロタップで接続します。



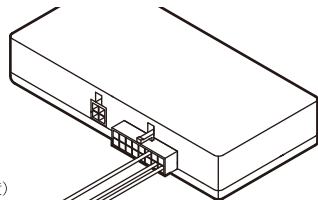
※エレクトロタップの使用方法(P6)をご覧ください。

**3** メインユニットのフットブレーキ検出線 (黄) とフットブレーキ延長線 (黄) のギボシ端子を接続してください。

フットブレーキ延長線 (黄)

フットブレーキ検出線 (黄)

接続



**4** リモコンでエンジン始動中、ブレーキを操作しエンジンが止まるか確認してください。(LED確認表 (P12) のNO.1 を表示しているか確認してください。)

# 取付け (L端子検出配線について)

本機には、2種類 (自動検出・L端子検出) のエンジン始動検出方法があります。  
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。  
セルボリュウム時間調整(P12)をしているのにも関わらず下記のような症状になる場合は、L端子配線を行って  
ください。

- ・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ・セルが回らないにもかかわらず、POWERランプだけ点滅し、本機作動中となっている。
- ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

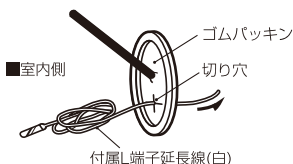
又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

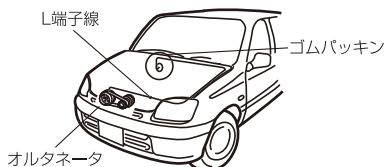
## ⚠ 注意

- ・シフトレバーをパーキング[R]にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

- 1** エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け付属L端子延長線 (白) を図の様に室内側から入れてください。



- 2** 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本機L端子延長線 (白) を配線してください。

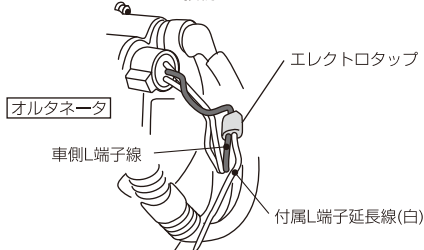


- 3** 車のオルタネータにあるL端子線を探して下さい。  
車側L端子の見分け方

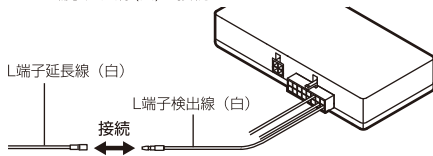
キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをつける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

※エンジン始動時6V以下の場合はBe-966が必要です。

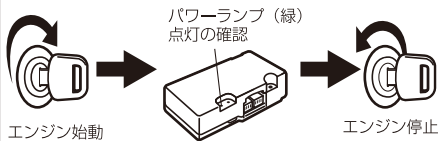
- 4** 車のL端子線と付属L端子延長線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。



- 5** メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線 (白) と付属のL端子延長線 (白) を接続してください。



- 6** キーでエンジンを始動し、メインユニットのPOWERランプ (緑) が点灯するのを確認後、キーをOFFにしてください。



- 7** メインユニットのファンクションスイッチNo.3をONにしてください。



# リモコンの使用法 (エンジン始動/停止させる)

## ■エンジン始動させる

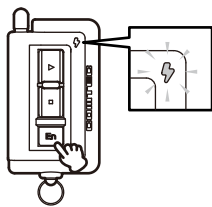
リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後設定したアイドリング時間 (P17) が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

### ⚠ 注意

1. リモコン操作するときはアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
2. 電池を交換した時は必ず下記動作を行ってリモコンのLEDランプが点滅・点灯するか確認してください。
3. 車から発生するノイズの影響で、エンジンを始動させることに比べ停止させる時の方が通信距離が短くなる事があります。

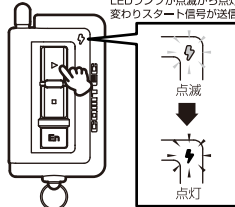
### リモコンの操作方法 (エンジン始動させる)

- 1** エンジンスイッチ (En) をLEDランプが点滅するまで押します。



- 2** LEDランプが点滅中にスタートスイッチ (▶) を押します。

LEDランプが点滅から点灯(約2秒)に変わりスタート信号が送信されます。

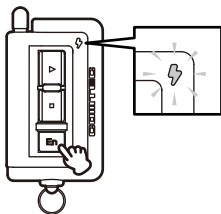


## ■エンジン停止させる

リモコンでエンジン始動中又はターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

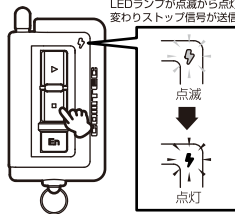
### リモコンの操作方法 (エンジン停止させる)

- 1** エンジンスイッチ (En) をLEDランプが点滅するまで押します。



- 2** LEDランプが点滅中にストップスイッチ (■) を押します。

LEDランプが点滅から点灯(約2秒)に変わりストップ信号が送信されます。



# リモコンの防水性について

リモコンは生活防水仕様です。但し、下記のような環境でご使用した際は防水性を保証しかねますのでご了承ください。

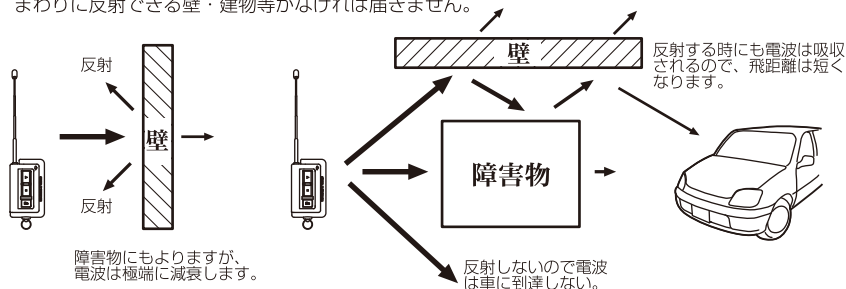
- 激しい雨や水中でのリモコンの使用による水の侵入
- 洗濯機洗いや水遊び等による何等かのリモコン本体への負荷が加わったことによる水の侵入。
- リモコンの改造による水の侵入。
- 電池パッキンの劣化や紛失による水の侵入。(電池交換時)

注意 長期間リモコンを使用しますと防水パッキンの劣化により防水性が落ちます。  
その場合は防水パッキンの交換が必要です。(保証期間外は有償交換になります。)

# リモコンの使用方法 (電波特性／電池交換について)

## ■電波特性 (電波飛距離について)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する。)
- ・電波は直進しませんが、ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



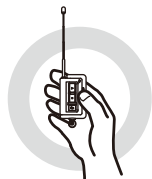
リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。



- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。

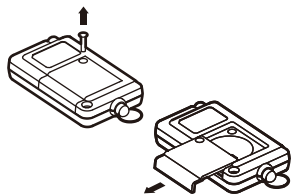


- リモコンは垂直に立てて操作してください。

## ■電池交換のしかた

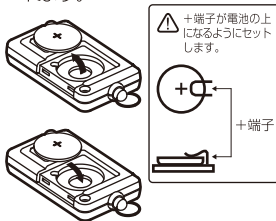
電池は、下図の手順にしたがって、＋／－の向きを間違えないように交換してください。

- 1.電池カバーのネジを外し、矢印の方向へスライドさせて取り外します。

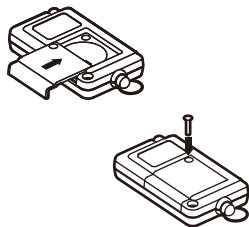


⚠ 注意 電池カバーを外すと防水パッキンが残る場合がありますので防水パッキンも取り外して下さい。

- 2.古い電池を取り出し新しい電池 (CR2016 1個) を＋を上にして矢印の方向から入れます。



- 3.最後に電池カバーをスライドさせて取付け、ネジを締めます。



### ⚠ 注意

- ・指定電池 (CR2016) 以外は使用しないでください。
- ・電池寿命の目安は、新品の電池で1日2回の操作で約半年です。＊使用する条件によって異なります。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

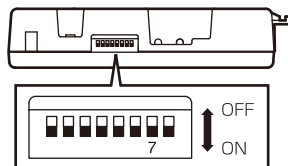


# 機能説明(アイドリング時間とターボタイマー時間の設定)

## ■アイドリング時間の設定

アイドリング時間の設定はメインユニットのファンクションスイッチNo.7で行います。使用環境に合わせてお好みの時間に選択します。(工場出荷時は20分です。)

アイドリング時間	ファンクションスイッチ No.7
20分	OFF
40分	ON



## ■ターボタイマーの設定

本製品は走行後、アフターアイドリングを行うターボタイマー機能を搭載しています。ターボタイマーは走行時間によってアフターアイドリング時間を自動的に算出するセミオート式を採用しています。ターボタイマーを使用するには、メインユニットのファンクションスイッチNo.8をONにしてください。

走行時間 (目安)	アフターアイドリング時間
0秒～15秒	約0秒
15秒～15分	約30秒
15分～30分	約1分
30分～1時間	約2分
1時間～2時間	約3分
2時間以上	約5分

### ⚠ 注意

- ① IGキーをONにして15秒以上経過しないと、ターボタイマーは作動しません。
- ② 一部の車種で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車輪が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

## ターボタイマーを停止するには？

ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。給油のときはターボタイマーを中止させてください。

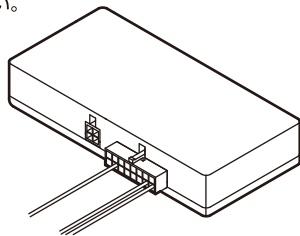
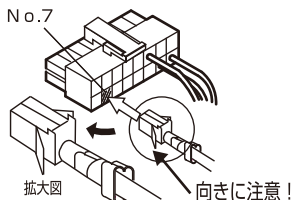
1. フットブレーキ配線 (P13) を行っている場合、フットブレーキを踏みます。
2. リモコンのエンジンスイッチ (En) を押してLEDランプが点滅中にストップスイッチ (■) を押します。
3. IGキーをACCの位置で約3秒以上待ちます。

# 機能説明（「当社別売セキュリティシステム」シリーズ運動について）

## ■当社別売セキュリティシステムと接続する

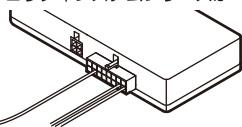
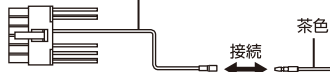
A-81のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート/ストップ操作ができます。  
（当社別売セキュリティシステムと接続するには付属の接続線（茶色）を使用します。）

- 1** 16PコネクターのNo.7に付属の接続線（茶色）をしっかりと差し込んで下さい。  
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。
- 2** メインユニットに16Pコネクタを接続して下さい。



- 3** 16Pコネクタから出ている先程の接続線（茶色）と当社別売セキュリティシステムから出ている茶色線を接続して下さい。  
※ キーONで当社別売セキュリティシステムシリーズが作動停止します。

「当社別売セキュリティシステム」電源検出線（茶）



### ⚠ 注意

一部の当社別売セキュリティシステムはA-81のリモコンでスタート/ストップ操作ができませんので、購入前に必ず「エンジンスターター車種別専用ハーネス適合表」のエンジンスターターリモコンとセキュリティシステムのリモコンの操作互換表をご確認ください。

## ■当社別売セキュリティシステムをスタート/ストップさせる

リモコンの操作方法	
スタートさせる	ストップさせる
スタートスイッチ (▶) を押します。	ストップスイッチ (■) を押します。

# アンテナユニット固定方法

## ■アンテナユニットの取付け・配線

### ⚠ 注意

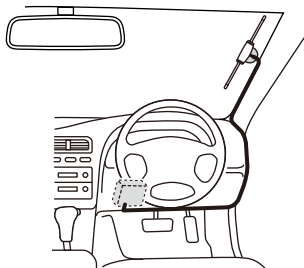
- ・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- ・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- ・吸盤及び両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

## 1 アンテナ本体をフロントガラスに取付けます。

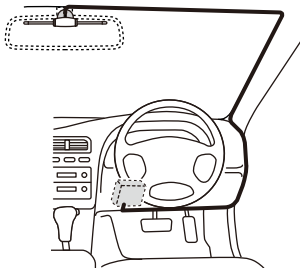
**取付け例** ※吸盤は工場出荷時より取付け済みです。

### 吸盤を利用する場合

#### サイドピラー横（運転席側）



#### ルームミラー裏側



### 市販の両面テープを利用する場合

吸盤を何回も取付け、取り外しをすると吸盤自体の粘着性が失われる可能性があります。そのような場合や、吸盤を利用せずフロントガラス以外に取付けを行う場合は市販の強力両面テープを利用してサイドピラー等に取付けしてください。

**⚠ 注意** 両面テープは付属していませんので市販の強力両面テープのご購入をお願いします。

①吸盤を取り外します。

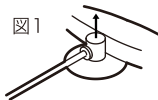



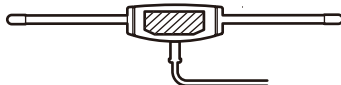
図1



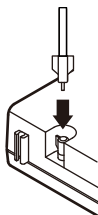
図2

吸盤の丸い部分（図1）を引っ張った状態で図2のように矢印の方向へ取り出します。

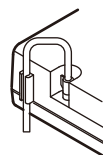
②アンテナユニット本体の  部にハサミ等で適当なサイズに切った両面テープを貼ってください。



## 2 アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナジャックに差し込みます。



## 3 アンテナコードをメインユニットのコード固定部にしっかりと差し込みます。



# メインユニットの固定方法

## ■メインユニットの取付け

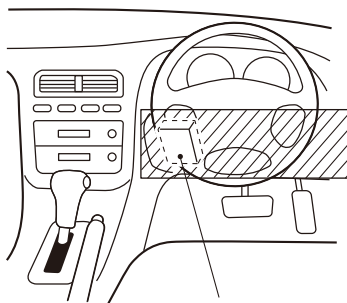


注意

- ・メインユニットの固定・配線を行う前に、動作確認（P11）を行ってください。
- ・エアコンやヒーター等の熱風又は水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、インシュロック又は、市販両面テープでしっかりと固定してください。（センターコンソール側面・アンダーカバー内側等）

※パワーランプ・エラーランプが見えやすい場所に取付けてください。



（例：この周辺に取付けます。）

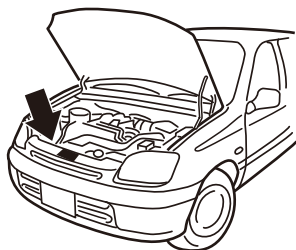
# 警告ステッカーの貼り付け場所

## ■警告ステッカーについて

- ・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

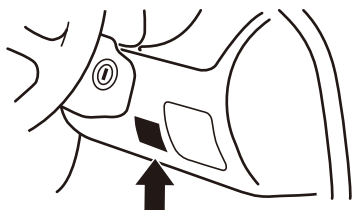
### 1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

- ・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けにくい目立つ場所に貼り付けます。



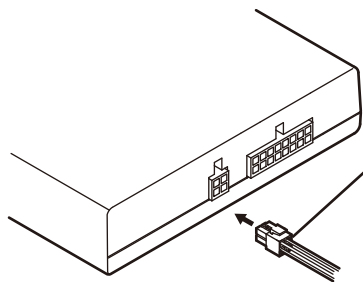
### 2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

- ・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



## オプションについて（イモビ対応アダプターの取付けについて）

本機は一部のイモビライザー装着車に対してオプション、イモビ対応アダプターを取付けることでA-81のリモコンでエンジン始動させることができます。



※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。

オプション  
イモビ対応アダプターの4Pコネクター

# 運転するには

## ■運転するには

本機でエンジンを始動した状態だけでは走行できません。

運転するときには、必ずイグニッションキーをONの位置までまわしてから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。



### ⚠ 注意

- ・リモコンでエンジン始動中、イグニッションキーをSTARTの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でイグニッションキーを止めてください。
- ・リモコンでエンジン始動中イグニッションキーをONの位置までまわさずにACCの位置で止めると、安全機能が働き、約3秒後にエンジンが自動停止します。

## スリープ機能について

本製品は車を8日間以上使用しない状態が続くとバッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。

スリープ機能がはたらくとリモコンによるエンジン始動ができません。

スリープ機能を解除するにはキーでエンジン始動を行ってください。

本製品を長期間使用しない場合はアンテナユニットの接続ケーブルを抜く事をお勧めします。

## IDコードの再登録・追加登録

### IDコードとは

リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。

### リモコンを紛失または破損した場合

メインユニットを交換することなく、新しいリモコン（別売）を購入していただき、「IDコード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。別売リモコン オープン価格

### ■IDコードの再登録方法

- 1.イグニッションキーを OFFの位置からACCの位置まで回して約3秒間待ってください。
  - 2.イグニッションキーをOFFの位置へ回してください。
  - 3.ONの位置まで回して約3秒間待ってください。
  - 4.イグニッションキーをOFFの位置へ回してください。
  - 5.リモコンのエンジンスイッチ(En)を押してからストップスイッチ(■)を押してください。
- ※以上の動作を20秒以内に行ってください。

☆車のイグニッション電源（警告ランプ等）が、2回ON/OFFの動作を行い再登録が終了します。

◇付属のリモコン以外に予備のリモコンを持つことができます。（付属のリモコンを含め合計2個まで）

追加リモコンの場合はこの後、つづけて10秒以内に追加リモコンのエンジンスイッチ(En)を押してからストップスイッチ(■)を押して下さい。

再度、イグニッション電源（警告ランプ等）が、2回ON/OFFの動作を行い登録が終了します。

※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はイグニッションキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

# 故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。
	・アースはとれていますか？	・アースを確実にとってください。
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。(P16)
	・メインユニットのIDコードが消失している可能性があります。	・イグニッションキーをACCIにまわしてリモコンのエンジンスタート動作En→▶を行いメインユニットのパワーランプ（緑色）が3回点滅すればP22「IDコードの再登録」を行ってください。 パワーランプが点滅しない場合は弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。
	・バッテリー交換後、イグニッションキーで一度エンジン始動しましたか？	・IG2未検出エラー(P12)の可能性があります。通常よりセルを長めにまわしてください。
	・メインユニットのLED表示が点滅していますか？	・P.N検出エラー表示(P12)をしていませんか？表示されている場合はフットブレーキ配線を行ってください。それ以外の表示の場合もありますので一度、LED確認表(P12)で確認ください。
	・メインユニットのLED表示が点滅していますか？	・P12の「LED確認表」を参照し、P11の「動作確認」を行ってください。
	・パワーランプ（緑）とエラーランプ（赤）が点灯したままですか？	・P22の「IDコードの再登録」を行ってください。 頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。

# 故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実に確か？	・P17「アイドリングの設定」を参照し確認してください。
	・アース不良が発生していませんか？	・アースを確認してください。
	・リモコンでエンジン始動中、イグニッションキーを入れて、ACCの位置で止めると、エンジンが停止します。	・正常です。 ACC検出機能が働いて、エンジンを停止します。
	・3回リトライを行って終了する。	・L端子配線を行ってください。(P14)
ターボタイマーが作動しない。 (ACC電源もきれる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか？ (出荷時の設定はOFFです)	・P17「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・エラーランプが点滅していますか？ (P12)	・フットブレーキ検出を行っている場合、イグニッションキーをOFFする時に約5秒以上フットブレーキを踏んでいませんか。 イグニッションキーをOFFする時は、約5秒以上フットブレーキを踏まないでください。
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・本体からアンテナが抜けていませんか？	・アンテナを本体に接続してください。
	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・P16を参照して正しく操作してください。
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありませんか？ ※電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。 (金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等)	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 (P16の「電波の到達距離について」を参照)
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。
その他	・動作が不安定	・アースを取り直してください。



# アフターサービスについて

## ■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## ■保証期間

ご購入日から3年間です。（リモコンは1年間）

## ■修理を依頼される時

「取付（動作確認）」(P11)と「故障かな？と思ったら」(P23～24)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

### ○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輛と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

### ○保証期間が経過している場合

有料修理となります。販売店にご相談ください。

## ■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

## ■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

別売リモコン（オープン価格）を再度購入された場合は、P22「IDコードの追加登録」をご覧ください、IDコード登録を行ってください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## ■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	426MHz帯
識別IDコード	1000万種
送信出力	1mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送付
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
送信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	-20°C~+60°C
使用電池	リチウム電池 CR2016×1
ケース寸法	32.5 (W) × 54 (H) × 12.5 (D) mm
重量	25g (電池含む)

## ■受信機（メインユニット）

受信周波数	426MHz帯
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
動作温度範囲	-20°C~+70°C
電源電圧	12V車専用 (DC8~16V)
消費電流	待機時 5mA以下 (平均)
リレー容量・個数	40A (IG1) 30A×2 (IG2・ACC) 25A×2 (ST1・ST2)
ケース寸法	138(W)×29(H)×66.5(D)mm
重量	300g (コネクタ・コード含む)

## ■アンテナユニット

受信アンテナ	ヘリカル式アンテナ
コードの長さ	約2.5m
寸法	183 (W) × 10 (H) × 20 (D) /mm
重量	65g (コード含む)